

千葉県で働いてみませんか

令和7年3月

千葉県農林水産部畜産課 (043) 223-2930・2929

職員採用案内のホームページはこちら

<https://www.pref.chiba.lg.jp/jinji/ninyou/saiyoushiken/index.html>

千葉県は、畜産産出額が全国第5位で、うち乳用牛第6位、豚第4位、鶏卵第1位と全国有数の畜産が盛んな県です。

また、江戸時代に乳製品を作り始めた日本酪農発祥の地も千葉県にあります。

首都圏への畜産物の供給を担っている千葉県の畜産を、将来に渡って発展させていくことが私たちの使命です。

千葉県は畜産職員として、今、“皆さんの力”を必要としています。

畜産職員の仕事

畜産業の振興	試験研究	普及指導
〔主な業務〕 ・畜産業の振興に関する施策の企画・立案 ・畜産物の生産、出荷、販売促進や流通などに必要な対策の実施 ・自給飼料の増産 ・養蜂振興法や家畜商法など法令に基づく許可や認可などの事務	〔主な研究成果〕 ・乳用牛の生産を高める育成技術の開発 ・交雑肥育牛へのバイオチン給与による増体及び肉質改良効果 ・系統豚（ランドレース）の造成 ・採卵鶏の配合飼料への酵素剤の利用技術の開発 ・養豚排水の窒素低減に関する技術の開発 ・千葉県における飼料用トウモロコシの二期栽培技術の開発	〔畜産分野の主な普及成果〕 ・乳牛の暑熱対策として屋根への石灰塗布効果の調査 ・稲WC Sの安定生産と給与技術の向上 ・自給飼料の生産と利用の拡大 ・搾乳ロボットの導入効果の検証 ・酪農・和牛繁殖農家におけるICT導入による繁殖成績改善への取組 ・肉用牛農家での農場HACCP導入支援

畜産職員の主な職場

畜産課	農業事務所	畜産総合研究センター
県庁(本庁舎)にあります。 仕事の内容は、畜産の振興に関すること全般の事務を行います。畜産課の出先機関として、畜産総合研究センター及び3つの家畜保健衛生所、その他乳牛育成牧場、酪農のさと(酪農理解醸成施設)が設置されています。 畜産課内は2室2班で構成され、主な業務内容は以下のとおりです。 〔企画経営室〕 企画、予算、畜産物の流通及び販売促進対策など 〔生産振興班〕 牛・豚・鶏の生産振興及び改良増殖、養蜂の振興など 〔環境飼料班〕 家畜ふん堆肥の有効利用、自給飼料の生産拡大など 〔家畜衛生対策室〕 飼養衛生管理基準遵守による疾病予防、まん延防止など	農林水産政策課の出先機関として県内10箇所にあります。庁舎の所在地は、千葉市、柏市、佐倉市、香取市、旭市、東金市、茂原市、夷隅郡大多喜町、館山市、木更津市です。 それぞれの地域の農業全般にわたって総合的な業務を取り扱っており、畜産職員が配属となる主な業務内容は以下のとおりです。 〔企画振興課〕 地域の畜産の生産振興、養蜂の振興、自給飼料の生産拡大、畜産農家の環境保全、家畜商免許証の交付、補助事業及び制度資金貸付など 〔改良普及課〕 畜産農家への情報提供、飼養管理技術、自給飼料生産技術支援、農業経営相談・支援、経営体や担い手の確保・育成、新規就農の促進など	畜産課の出先機関として八街市、市原市及び南房総市にあります。 主な研究内容は以下のとおりです。 〔企画環境研究室〕 八街市 試験研究方針や課題評価、家畜排せつ物の処理利用技術、飼料作物生産技術、経営実態調査など 〔乳牛肉牛研究室〕 八街市 生産性向上や乳質・肉質の向上のための飼養管理技術など 〔養豚養鶏研究室〕 八街市 アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理、豚の繁殖成績や鶏の卵質の改善など 〔市原乳牛研究所〕 市原市 乳牛の集団育成、牧草地の管理など 〔嶺岡乳牛研究所〕 南房総市 受精卵の効率的利用などの繁殖管理技術



県庁本庁舎



乳牛の集団育成技術の研究



若手酪農家の技術研修



飼料用稲の
収穫調整技術の普及



飼料給与技術の開発



優良な系統豚の造成



嶺岡乳牛研究所に隣接する
酪農のさと